

# 第10回 日本語コミュニケーション 研究会

日時：3月11日（月）

9:20-18:00

場所：創価大学  
中央教育棟  
AE560教室

## 【研究発表】

9:30-10:00 遠藤李華（創価大学大学院生）

「「大丈夫」のコミュニケーション上の特質—語用論の観点からの分析—」

10:00-10:30 ヤクリン・ペトラ（筑波大学研究生）

「使役文と「一てもらう」文の使役性と意味合い—クロアチア語の観点からの「つかいだて」と「みちびき」」

10:40-11:10 山下悠貴乃（筑波大学大学院生）

「単独用法の「とか」の配慮表現としての機能について」

11:10-11:40 李丹（創価大学大学院生）

「応答発話における副詞の機能—「なるほど」の慣習化を中心に—」

（休憩）

13:10-13:40 飯田朋子（筑波大学大学院生）

「技能実習生の交代によるコミュニティの再構築—受け入れ側とのコミュニケーションに注目して—」

13:40-14:10 片山奈緒美（筑波大学大学院生）

「「わかりあえる日本語」の構築による相互理解——動機付けを重視したコミュニケーションの可能性——」

14:20-14:50 朱炫姝（東京福祉大学）

「初中級日本語学習者のプレゼンテーションに現れる語彙処理能力に関する考察」

14:50-15:20 山岡政紀（創価大学）

「配慮表現データベース試用版の入力について」

15:35-16:05 小野正樹（筑波大学）

「引用話法から見るポライトネス」

16:05-16:35 金玉任（誠信女子大学）

「前置きの用いられる「よね」」

16:45-17:15 牧原功（群馬大学）

「配慮副詞としての「ちょっと」再考」

17:15-17:45 李奇楠（北京大学）

「慣習的配慮表現について」

【懇親会】18:00～

連絡先

遠藤李華（創価大学）

e16m3102@soka-u.jp